

2025年11月18日

各 位

会 社 名 辻・本郷ITコンサルティング株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 黒仁田 健
(コード番号：476A 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役CFO 安東容杜
(TEL) 03-5323-3797

2026年9月期の業績予想について

2026年9月期（2025年10月1日～2026年9月30日）における当社の連結業績予想は、次のとおりであります。

【連結】 (単位:百万円、%)

	2026年9月期 (予想)			2025年9月期 (実績)			2024年9月期 (実績)	
		対売上高 比率	対前期 増減率		対売上高 比率	対前期増 減率		対売上高 比率
売 上 高	2,913	100.0	37.2	2,124	100.0	64.5	1,291	100.0
営 業 利 益	428	14.7	33.8	320	15.1	190.8	110	8.5
経 常 利 益	428	14.7	32.1	324	15.3	196.2	109	8.5
親会社株主に帰属 する当期純利益	302	10.4	78.8	169	8.0	115.8	78	6.1
(参考) 調整後親 会社株主に帰属す る当期純利益	318	10.9	40.0	227	10.7	167.9	84	6.6
1株当たり 当期純利益	179円06銭			99円45銭			51円28銭	
1株当たり 配 当 金	0円00銭			0円00銭			0円00銭	

- (注) 1. 2024年9月期（実績）及び2025年9月期（実績）の1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。2026年9月期（予想）の1株当たり当期純利益は、予定期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 2025年9月期において、当社の連結子会社であるコロニーインタラクティブ株式会社において、同社が利用するクラウドサーバーが第三者による不正アクセスを受け、多額の利用料が発生したため、特別損失として73百万円を計上しております。
3. 調整後当期純利益を、以下により算出しております。
- 調整後親会社株主に帰属する当期純利益
- = 親会社株主に帰属する当期純利益＋上場関連費用－特別利益＋特別損失±法人税等調整費用
4. 上場関連費用とは、上場審査に係る費用、上場準備に伴う主幹事証券会社へのアドバイザー費用、目論見書印刷費用等、上場に伴う一時的な費用であります。
5. 法人税等調整費用は上場関連費用及び特別損益の調整による課税所得の増減に伴う法人税等費用であります。

6. 2025年6月12日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。上記では、2024年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。
7. 2025年9月期の連結財務諸表については、「連結財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号)に基づき作成しておりますが、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査は未了であり、監査報告は受領しておりません。

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」を
ご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

【2026年9月期業績予想の前提条件】

(1) 全体の見通し

① 当社グループの事業について

当社グループの事業はDXに関するプラットフォーム事業の単一セグメントです。当社グループのMissionの追求並びにVisionを達成するために、コンサルティングドメイン、テクノロジードメイン及びオペレーションドメインの3つのドメインにおいて、事業を運営しております。各ドメインが提供する主なサービスは下記の通りです。

・コンサルティングドメイン：経営課題の可視化と改善提案

公認会計士や中小企業診断士などの専門家が、お客様へのヒアリングを通じて業務フローを可視化します。これにより潜在的な課題を抽出し、具体的な改善策をご提案します。

・テクノロジードメイン：事業に最適なITソリューションの提供

システムの導入支援、販売、受託開発を担います。単にシステムを導入するのではなく、お客様の業務フローや組織に最適なITソリューションを提案し、その効果を最大化します。

・オペレーションドメイン：業務効率化と内製化の支援

システムの設定から記帳、給与計算、請求書発行などの経理業務を代行します。単なる業務代行に留まらず、最新ITツールの導入や業務プロセスの最適化も同時に進め、お客様の業務効率化と将来的な内製化を支援します。

② 当社グループの属する市場環境について

近年のデジタル技術を活用した変化の激しいビジネス環境に対応し、企業競争優位性の確立を目的とした「デジタルトランスフォーメーション (DX)」の推進が社会的に意識されております。このDX実現のためには社内資産のみならず、適切な外部人材の活用や、外部システムの調達等の社外資産も必要であるといわれております。

一方で、インボイス制度の施行や電子帳簿保存法の義務化といった法的整備に伴い業務上の課題が顕在化しております。

③ 当社グループが提供するサービスについて

私たちは、高い専門性を強みに業務の現状を分析・把握し、抽出した課題に対して中立的な立場で組織の業務フロー改善に最適なサービスを提供しています。これによりお客様の収益向上と企業競争優位性の確立をサポートいたします。

④ 当社の営業状況について

2025年9月期につきましては、このような急速なテクノロジーの進化に対応するため、中堅・中小企業の経営においてもコンサルティング、テクノロジー、オペレーションを一気通貫で提供できる当社サービスへのニーズが高まっております。特にコンサルティングサービス及び経理労務代行等のアウトソーシングサービスにおいて案件獲得が進んだことにより、売上規模が拡大しました。その結果、売上高 2,124百万円（前期比 64.5%増）、営業利益 320百万円（前期比 190.8%増）、経常利益 324百万円（前期比 196.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 169百万円（前期比 115.8%増）となっております。なお、当社の連結子会社であるコロニーインタラクティブ株式会社において、同社が利用するクラウドサーバーが第三者による不正アクセスを受け、多額の利用料が発生し、特別損失として73百万円を計上しております。

各ドメインの売上構成は、コンサルティングが約2割、テクノロジーが約5割、オペレーションが約3

割です。

これらの状況は2026年9月期においても概ね同様であることから、当社グループの2026年9月期業績予想は、売上高 2,913百万円（前期比 37.2%増）、営業利益 428百万円（前期比 33.8%増）、経常利益 428百万円（前期比32.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 302百万円（前期比 78.8%増）となる見込みであります。

（2）売上高

当社の主なサービスであるコンサルティングサービス（コンサルティングドメイン）、経理労務代行等のアウトソーシングサービス（オペレーションドメイン）及びソフトウェアの販売（テクノロジードメイン）の収益は、それぞれプロジェクトベースまたは業務量に応じての月額報酬やサブスクリプションモデルによる仕入販売により成り立っています。2025年9月期では特にコンサルティングサービスの案件数及び経理労務代行等のアウトソーシングサービスの案件数が順調に増加し、コンサルティングサービス売上高は前期比209%増、アウトソーシングサービス売上高は前期比158%増となりました。当社グループにおける2026年9月期の売上高の計画は、安定した収益基盤である「既存案件」と、成長の原動力である「新規案件」の積み上げによって策定しております。新規案件の獲得は、過去から実績のある外部パートナーからの案件紹介をさらに伸長させることで実現します。具体的には、辻・本郷税理士法人をはじめとした会計事務所、金融機関、各種ベンダー、伊藤忠商事グループといった強固なパートナーチャネルとの連携を一層強化し、紹介数を着実に増やす計画です。

なお、主な計画策定方法は以下のとおりです。

（既存）継続案件については個別に受注確定しているものについて反映しております。

（新規）新規獲得数、平均単価及び平均契約期間を基に算出しております。

新規獲得数：過去案件紹介数実績等を基に予定案件紹介数を決定し、当該数値に前期受注率を乗じて算出しております。

平均単価：過去受注実績平均等を勘案して決定

平均契約期間：過去平均契約期間実績を基に算出

上記の結果、2026年9月期においては2,913百万円（前期比 37.2%増）を見込んでおります。

（3）売上原価、売上総利益

売上原価につきましては、主としてソフトウェアなどの仕入や人件費で構成されております。売上高の増加に伴い、2026年9月期の売上原価は1,387百万円（前期比 39.8%増）、売上総利益は1,526百万円（前期比 34.8%増）を見込んでおります。

（4）販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、主に人件費、支払報酬、減価償却費及びその他の一般管理費で構成されております。

人件費は、事業拡大による営業体制、管理体制の強化を目的とした人員増加を図ることから、598百万円（前期比 24.2%増）を見込んでおります。支払報酬は、IPO関連費用の増加により、80百万円（前期比 15.4%増）を見込んでおります。減価償却費は、のれん及びその他固定資産の減価償却を予定しており、47百万円（前期比 5.6%増）を見込んでおります。

以上の結果、販売費および一般管理費は2026年9月期は1,097百万円（前期比 35.3%増）を見込んでおります。

(5) 営業外損益、経常利益

営業外収益については、受取利息・雑収入を計上しており、1百万円（前期比 84.9%減）を見込んでおります。営業外費用については、支払利息・雑損失を計上しており、1百万円（前期比 72.7%減）を見込んでおります。

以上の結果、経常利益は2026年9月期においては428百万円（前期比 31.8%増）を見込んでおります。

(6) 特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

特別損益については、発生を見込んでおりません。なお、2025年9月期において当社の連結子会社であるコロニーインタラクティブ株式会社において、同社が利用するクラウドサーバーが第三者による不正アクセスを受け、多額の利用料が発生し、特別損失として73百万円を計上しております。

法人税等は税務上の調整項目を加味した課税所得に法定実効税率を乗じて見積り計上しており、125百万円（前期比 52.3%増）を見込んでおります。

以上の結果、親会社に帰属する当期純利益は、2026年9月期においては302百万円（前期比 78.8%増）となる見込みであります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提としており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。